

通信 ともに

第30号



2015年11月12日発行

発行者/認定NPO法人ともに
 住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
 でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com
 公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
 公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

倶知安たんぽぽの会総会に出席



10月8日、保健福祉会館でおこなわれた倶知安町の家族会「たんぽぽの会」の総会に、ワークショップようていの利用者5名と職員2名が参加しました。総会決議した後の懇談会では、利用者がそれぞれどのような作業をしているかを紹介し、一生懸命取り組んでいる姿を家族会の会員にアピールしました。

倶知安たんぽぽの会は今からちょうど20年前、ワークショップようていを立ち上げました。私たちは今後も相互に協力していきます。

精神科医 土田正一郎の

診察室で考えていること(仮)

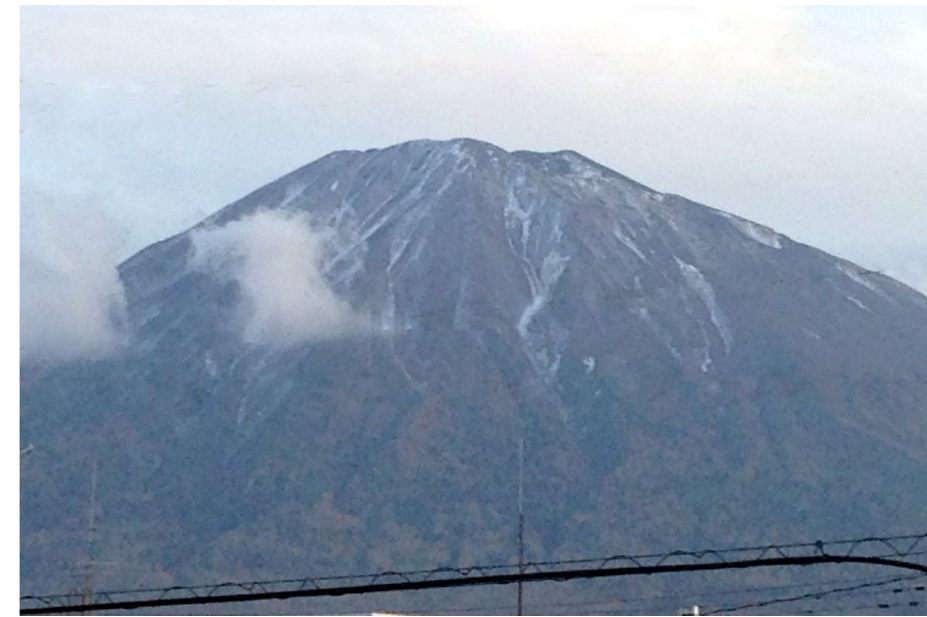


その19 覚悟はあるか

外来の診察室は、出会いの場である。それもとても安全とは言えない、危険を孕んだ出会いの場である。その出会いに耐えられるかという意味で「覚悟はあるか」と私自身に問いかけて、診察室にすることがある。私だけの覚悟ではない。逃げ腰の覚悟は、それに応じた結果しかもたらさない。それはちょっと悲しい。

さらに貴方の覚悟の目的語は何かと問われれば、「自分の人生に向き合う覚悟」とでも答えようか。私の覚悟は、そういう貴方に付き合う覚悟でもある。そして自分が今どんな覚悟をしたか知っておくことは悪くない。
 ともに顧問(自称)

今月の一枚



羊蹄山 うっすら雪化粧 冬の到来

11月5日撮影

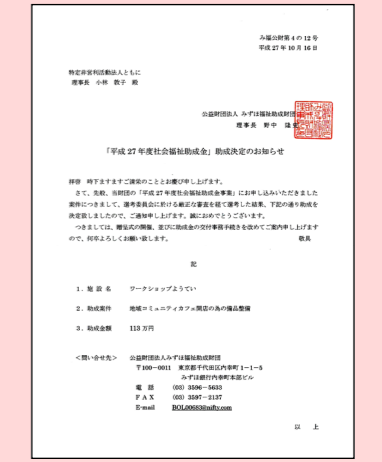
公益財団法人みずほ福祉助成財団さまより 113万円の助成!

公益財団法人みずほ福祉助成財団さまの「平成27年度社会福祉助成金事業」に応募していましたが、10月19日に助成決定のお知らせが届きました。助成金交付金額はこちらの希望どおりの113万円をいただくことができました。

この助成金はコミュニティカフェわっくわくの備品購入費用のために応募したもので、現在喫茶のテーブルやイスなどはいろいろお借りして営業しています。

さっそく飛騨家具テーブルセットやカップボード、レジ用品などの発注手続きをしました。地域の皆さんの憩いの場になれるようなお店づくりを進めてまいります。本当にありがとうございました。11月24日札幌でおこなわれる助成金の贈呈式に理事長が出席予定です。

助成決定のお知らせ



公益財団法人みずほ福祉助成財団とは

1980年にみずほ銀行の前身「富士銀行」が設立した「財団法人富士記念財団」から始まる公益財団法人。社会福祉事業への助成のほか、視覚障がいの方への育英事業や福祉車両などの贈呈事業を進めている。



作：あったかい缶コーヒー

わ
か
り
あ
え
る
友
よ
解
き
放
つ
言
葉
い
つ
ま
で
も
笑
顔
で
そ
し
た
ら
心
開
こ
う
あ
の
一
言
が
あ
っ
た
か
ら
今
が
あ
る
そ
れ
は
感
謝
で
し
ょう
こ
れ
か
ら
も
あ
り
が
と
う
○
つ
ら
い
と
き
は
○
つ
ま
づ
く
こ
と
を
恐
れ
ず
○
必
ず
勝
機
は
あ
る
で
し
ょう
○
か
じ
か
む
手
あ
っ
た
か
い
缶
コ
ー
ヒ
ー
○
冬
は
き
っ
と
愛
情
へ
導
か
れ
よ
う

各事業報告～10月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移住2名、継続B20名 見学/0名 体験/1名
- ◆グループホームよろこび 現利用者/18名(定員21名) 見学/1名、体験/1名
- ◆法人会員 正会員18名、賛助会員 団体2 個人75名
- ◆寄付物品 牛乳パック、カラーボックス、書棚、押入れタンス、花、ほか

編集後記

前号の赤い羽根共同募金の記事で「10月9日に街頭募金に立ちました」と書きましたが、当日台風の影響で募金に立つことができませんでした。印刷発注の都合で9日より前に予測で執筆してしまいました。読者および関係者のみなさま、本当にごめんなさい。(かわさき)

はみ出し豆知識 先月お伝えした「京極ほかほかまつり」出店の売り上げは、1万7千円にもなりました。「協力ありがた」をいただきました。

コミュニティカフェ わっくわく コミュニティカフェわっくわく、オープン！

10月15日、「コミュニティカフェ わっくわく」がついにオープンしました。

オープン当日に載った北海道新聞の記事を読んでくださった方もいました。自分で挽くコーヒー豆の香りを楽しむ方、職場の仲間同士で来店し談笑を楽しむグループ…リピーターの方も増えています。

汁物と惣菜が日替わりで楽しめる「日替わり具たくさん汁物ランチ」は、身体も心も温かくなりますよ。お昼ごはんはぜひ当店へお越しください。また店内で召し上がれるケーキもあります。次号では販売しているケーキを特集する予定です。どうぞお楽しみに。

メニュー

日替わり具たくさん汁物ランチ…500円

温かいお飲み物…350円

ミルクコーヒー、紅茶、ルイボスティー、ココア、ホットミルク

冷たいお飲み物…300円

アイスコーヒー、アイスティー、ジュース類など

ケーキ…200円～400円

(ランチやケーキとお飲み物とのセットで、お飲み物が100円引きになります)



リサイクル着物を活用して作った布看板



10月26日提供分のランチ この日は「きのこ汁」でした



開店祝いのお花もいただきました



道新取材時のようす



オープン当日に北海道新聞の後志版に掲載された記事

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 寄付でいただいた脱穀機・唐箕が大活躍！

10月中旬、ワークショップようてい農業部では豆の脱穀作業に精を出しました。その中で活躍したのが、蘭越町の方から寄付でいただいた脱穀機と唐箕*2です。

これは北海道新聞の羊蹄山ろく地区の折り込み広報紙「ねっとわーくようてい」で呼びかけ、寄付していただきました。木製で軽くて扱いやすいので、利用者も安心して使っています。脱穀機の動力は耕運機からベルトで伝わり、さやを入れるとあっという間に脱穀され、全部手作業だった去年と比べての作業効率の良さに目を見張りました。唐箕も皮と豆を簡単により分け、選別作業が早くなりました。本当にありがとうございました。



農業部総出で豆の脱穀



寄付していただいた脱穀機



唐箕の解説は「豆知識」にて

農業部のじゃがいも、完売しました

農業部が今シーズン作ったじゃがいもは、11月初めをもって完売しました。コープさっぽろ「ご近所やさい」の販売と地方発送は終了させていただきます。

今年もたくさんの方にいもを買っていただき、ありがとうございました。来シーズンもたくさんつくっていきますので、よろしくお願いいたします。



グループホーム よろこび 障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 消防訓練と火災報知器操作練習



火災報知器の通話訓練

10月9日「わっくわく」で初めての消防避難訓練と火災報知器の操作訓練を実施しました。グループホームとワークショップそれぞれで訓練をおこない、職員の誘導のもと迅速に避難しました。その後利用者の安否と人数確認・報告訓練をしました。

特に廊下から外へ避難するとき①ハンカチ等で口を覆う ②できるだけ身を低くして移動する ③戸を閉めながら移動することが大事だと消防士から強調されました。

避難訓練のあと火災報知器の鳴らしたサイレンの消し方や、1階と2階の通話訓練を実施しました。消防設備の操作方法を覚え、緊急の時にあわてず使えるようにしていきたいと思います。

感染症予防研修会を受講して

10月22日に、後志総合振興局で倶知安保健所主催の感染症予防研修会を受講しました。感染症でいちばん気を遣わなければならないのがノロウイルスなどに感染した人の吐物処理で、ウィルスが飛び散らないように迅速かつ慎重に処理しなければならないとのことでした。

吐物処理は使い捨てエプロン、ゴム手袋、マスクで厳重に保護し、吐物の上にかぶせた新聞紙の上から塩素系漂白剤を混ぜた水をかけて消毒するという方法でした。このくらい厳重にすることで、さらなる感染を防げることがわかりました。

これから感染症にかかりやすい時期がやってくるので、私たちが気を引き締めてこの時期を臨みたいと思います。(いなむら)

